

ひと・夢・まち 町長コラム

JR 地方路線の赤字、路線廃止と地方創生に思うこと(令和 6 年 11 月号)

先月末の新聞一面に「JR 地方路線赤字」との記事が載っていました。県内 5 区間でも赤字幅拡大とあり、左沢線（寒河江－左沢間）もその一つに挙げられていました。左沢線は、大正 10 年に開通し、以来通勤・通学を主に町民の生活を支え、地域経済の活性化に直結してきました。JR 地方路線赤字と路線廃止は、地方創生にとって非常に重要な課題です。

昭和 62 年 4 月の分割民営化以降、JR 各社は効率的な運営を目指してきましたが、時代の変遷と共に JR の利用客が減少し厳しい運営状況にあります。さらに、度重なる災害により復旧もままならない米坂線の現状もあります。一考として、鉄道の上下分離方式（運営と施設の管理を分ける）の検討も含め、地域ごとの状況を考慮し連携を強化しながら、持続可能な地域交通ネットワークを構築することが地方にとって重要と思うのです。

私も高校時代に毎日お世話になった左沢線、現在は S u i c a も使えるようになり出張時や私用でときどき利用しています。車窓からの豊かな景色を眺めながら、存続と利用拡大について、できる限りのことを思案すべきだと思っています。